

◆導入経緯と経過

- **公共施設利用の利便の向上**及び高齢者や子どもなどの**移動制約者の通院、買い物等の日常生活支援のため**、平成13年より試行運行を実施し、平成15年より本格運行。
- その後、ルート改正等を経て、令和2年10月1日より、現在の形態で運行している。
- 前回のルート改正から間もなく4年が経過すること、また、現行車両は平成26年7月に購入しており、購入から10年が経過しようとしていることから、**ルート・車両の見直しを行う**。

※過去の改正経緯

平成23年10月

- Aコース: 月～土。1日8便。
- Bコース: 月、水、金、土。1日5便。
- Cコース: 月、火、木、土。1日5便。
- Dコース: 火、水、木、金。1日5便。

平成26年7月

- 「曜日運行」から「毎日運行」に変更
- Aコース: 1日6便、B～Dコース: 1日4便に変更
- ルートの一部改正
- 車両購入
(日野ポンチョ ロングタイプ(31人乗り:運転手含む))

令和2年10月

- ルート等の一部改正
- Aコース: 1日5便に変更

令和3年10月

- Bコースの永和駅停留所付近のルートの一部変更

◆ルート等の見直し

- 公共施設利用の利便の向上及び高齢者や子どもなどの移動制約者の通院、買い物等の日常生活支援のためのルート設定等を行う。
- ただし、今後、通勤・通学への対応の必要性について検討する。
- 市民からの要望等を踏まえて検討する。
 - これまで市に寄せられた市民からの要望
 - R5に実施した市民会議で出された意見
 - 各コミュニティ等から寄せられた要望→委員の皆様へお願い(別添依頼文)
- 現状、恒常的に発生している遅延に対応するとともに、法令で定められた運転手の休憩時間が確保できるダイヤ編成とする。
- 運行事業者等と随時調整しながら検討を進める。

◆車両の見直し

- **車両サイズは現行車両より小型化**する。
- 利便性向上の観点から、**車両台数を2台から4台に拡大**。
- 乗せこぼしが発生しないよう、利用状況から車両サイズを検討する。
- **バリアフリーの観点から**、車いす利用者も平等に利用できるよう、**車いす対応車両とする**。

ルートに関する要望(同一内容は1つにまとめている)

	要望	補足
Aコース	西地域防災コミュニティのバス停を復活させて頂きたいです	R2.10.1の改正時に廃止(西愛宕町方面に停留所の新設に伴い、運行時間短縮のため廃止した経緯あり)
	西愛宕町ポリス前にバス停を作ってください	西愛宕町方面に南下することで、1便あたりの所要時間が増える等の理由から、現在の位置に設置することで協議が調った経緯あり(R2)
	Aコースのみ津島市民病院や津島市役所に1度しか立ち寄らない	
	カネスエ津島愛宕店前に停留所を設置してほしい	名鉄バス「愛宕住宅前」停留所から徒歩2分
	マクドナルド橋町店のあたりに停留所を作してほしい	B・C・Dコース「津島駅東」停留所から徒歩7分、名鉄バス「津島サンガーデン」から徒歩4分
Bコース	ワークマン愛宕店、ガスト、スギ薬局に行けるよう、ルートを見直し停留所を設置してほしい	西愛宕町方面に南下することで、1便あたりの所要時間が増える等の理由から、現在の位置に設置することで協議が調った経緯あり(R2)
	Bコース下春日台のバス停を現在利用しているが、足が悪く遠いので、団地の中を通り、奥側(南側)にバス停を設置してほしい	
Cコース	安藤病院の近くにふれあいバスのバス停があるといい	Bコース「唐臼北」停留所から徒歩10分、名鉄バス「唐臼住宅前」停留所から徒歩5分
	葉苅町内には、近くにバス停がないので設置してほしい	葉苅町へのバス停設置を検討するも、道幅が狭く運行することが困難であることを名鉄バスに確認している(R2)
Dコース	神守住宅の北側に住んでいる人から停留所が遠いとの意見あり	
	生涯学習センター東停留所を生涯学習センターに近づけてほしい	

その他の要望

No	要望
1	本数を減らさないでほしい(6本→5本)
2	ヨシヅヤ本店のバス停に屋根を付けてほしい
3	反対回りのコースがほしい
4	バスの車両を小さくしたら経費が安くなるのではないか
5	ふれあいバスの料金を無料にした方が良い
6	学生や社会人が利用できる時間帯であればかなりの収益が見込めると思います
7	ふれあいバスのルート、時間を見直してほしい。生活保護で車に乗れないのに、バスが不便すぎて利用できない。上記が合わなくて利用していない人達の意見を聞いてほしい。 具体例 朝から市役所に来たが、午後の便では保育園のお迎えに間に合わず歩いて帰った。 朝の病院の予約時間に間に合わない。 午後に出かけると帰りのバスがない。等 子育て世帯に活用しやすくしてほしい。
8	ふれあいバスの本数を増やしてほしい

カテゴリ	主な意見
PR	PR不足、乗り方がわからない
便数	運行回数を増やす、バスの台数を増やす、1時間に1便以上にする
ルート	一方通行はよくないため、両方向の運行にしてほしい、停留所を増やす、ルートを増やす・見直す、病院、商業施設に行けるように便利にする
ダイヤ	時間帯で増減する、お祭りなどのイベント時は便数を増やす
停留所 屋根・イス	停留所に屋根やイスがほしい、イスをきれいにしてほしい、ヨシヅヤの敷地内に止められるようにしてほしい
運賃	高齢者は無料化、小学生以下はタダ
車両	バスをリース契約にする 小型化する 利用時間帯別で大・小と車を使い分ける

● 巡回バス検討委員会

<第1回>

- ・ ふれあいバスの利用状況、見直しの方向性について説明
- ・ 各コミュニティ等へ意見照会

<第2回>

- ・ 各コミュニティ等からの意見を踏まえた、見直し案を提示、検討

<第3回>

- ・ 第2回での意見等を踏まえた見直し案を提示、検討
- ※以降、繰り返し検討。
(計5回までを想定)



● 地域公共交通会議

- ・ 運行計画変更について、地域公共交通会議にて協議



● 運行に向けた準備(R8~)

- ・ 運行計画変更の届出、ルート図・時刻表の作成、停留所整備、車両の調達、市民・利用者への周知



● 見直し内容を反映し、運行開始(R9.4~)

※時期については現時点での目安